

漢方病害回避剤使用例

病害に関しては保毒してからでは間に合わないもの、土壌処理をしなければならぬもの、温度・湿度など天候に左右されやすいものなど

蔓延してからでは、殺菌・抗菌剤を散布だけではなかなか対処しきれないものが多いです

早期発見し早めの対処が必要です

ウイルスは特に保毒してからでは難しくなりますので、

媒介する（アブラムシ・スリップス等）の防除を徹底する必要があります

また、種・苗からの持ち込みが多く種子消毒・苗浸漬など注意が必要です

病害回避

病気の種類

糸状菌（カビ）・細菌 UD-S (WUD-S) +MK-III S

ウドンコ病・サビ病・葉枯れ病・斑点細菌病・褐斑細菌病・腐敗病など

ウイルス 保毒してからでは難しくなります

媒介する害虫の防除が必要です

モザイク病・ウイルス病・萎縮病など